

# 幼児期



## 楽しみながらみんなで子育て

幼児期(1歳~)になると、子どもは身近な人や周囲の物、自然などの環境と関わりを深め、興味・関心の対象を広げ、認識力や社会性を発達させていきます。また、子ども同士で遊ぶことなどを通じ、豊かな想像力を育むとともに、自らと違う他者の存在や視点に気づき、相手の気持ちになって考えるなど、道徳性や社会性を学んでいきます。

親子で遊べ、他の親子と交流できる場に行き、みんなで子育てを楽しみましょう。



## 子育て支援施設へ行ってみよう!

市では、親子が自由に遊び、交流できる施設が多数あります。子育て相談や講習などを実施している施設もありますので、お気軽にお越しください。



### 子育て支援センター

#### きっずプラザあおい (佐間1-11-3)

就学前の子どもとその保護者が、気軽に遊び集える、公園併設型の施設です。親子参加型のイベントや子育て相談などを実施しています。  
☎ 553-5701

#### なごみ (佐間3-20-3 (和光保育園内))

おおむね3歳までの子どもとその保護者が遊べる場を提供、子育て相談などを実施しています。  
☎ 553-6333

### つどいの広場

おおむね3歳未満の子どもとその保護者を対象に、自由に遊び、他の親子と交流できる施設です。

#### はすのこ (コミュニティセンターみずしろ3階)

☎ 553-2108

#### ひがし (東小学校敷地・東第二学童保育室内)

☎ 556-5231

#### みなみかわら (老人福祉センター南河原荘隣)

☎ 557-0977

#### さくら (桜ヶ丘小学校敷地・さくら第一学童保育室内)

☎ 552-0556

#### さきたま (埼玉小学校敷地・埼玉学童保育室内)

☎ 559-2500

### 児童センター (本丸5-10)

乳幼児から18歳までの子どもが自由に利用できる施設です。  
☎ 554-5706

### 子育て談話室たんぽぽ

民生委員・児童委員が子どもを預かり、子育て中の親同士が交流したり育児のアドバイスを受けられたりします。  
☎ 557-5400 (行田市社会福祉協議会)

### 利用者の方に聞きました!



きっずプラザあおいを利用する黒石理菜さんと菜日ちゃん

**Q** 利用して良かったことは何ですか。  
か。新しい世代の子どもが集まるので、新しい友達ができたり、私たちがママ友やパパ友ができたりしたのうれしいですね。また、職員の方がいるので、安心して子どもを遊ばせられたり、ちよっとした相談ができたりの魅力ですね。

**A** 子どもが、お家の中の遊びに飽きたとき、広いところで遊ばせたいとき、いろいろなお友達と遊ばせたいとき、親同士でコミュニケーション取りたいときなどに利用しています。

子育て情報の詳細は...

## 行田市子育て応援ウェブサイト「ママフレ」

「ママフレ」では、妊娠中の方から就学前の子どもに関する情報を分かりやすい説明でお届けしています。また、情報を「届出、健康、おかね、あずける、学ぶ、出かける、相談する、病院・救急」に分け、探しやすいサイトデザインになっています。

お子さんが急病のときの救急連絡先や、問題別に相談できる連絡先などもすぐに確認できますので、ぜひご利用ください。



## 行田市子育てガイドブック

市が支給している各種手当をはじめ、保育所や幼稚園、困ったときの相談など、子どもの成長に応じた情報をまとめたガイドブックです。子ども未来課で配布している他、電子版でもご覧いただけます。



# 産後～乳児期



## 生まれてきてくれてありがとう

新たな生命の誕生は、産婦自身はもちろん、その配偶者である夫、親族、友人など、大勢の人たちにとって大きな喜びです。その一方で、産後のママの体調や気持ちの変化、赤ちゃんの子育てなどで、ママやその家族は、さまざまな問題に直面します。

将来の社会を支える子どもが安心・安全に育てられるよう、市ではさまざまなサポート事業を実施しています。



## 産後のママをサポートする

待ちに待った赤ちゃんとの暮らしは、大きな喜びと楽しさでいっぱいですが、その一方で、2~3時間おきの授乳、慣れないおむつ交換、夜泣きの対応など、ゆっくり眠る時間がないほど忙しく、疲れやストレスで心が不安定になりやすい時期でもあります。

また、出産後は急激な女性ホルモンの減少による影響で更年期障害のような症状が起こりやすくなります。イライラする、気持ちが沈む、疲れやすいなど心身の不調が続くと、日々の忙しさと重なって不安が大きくなりがちです。

つらい気持ちを一人で抱え込まないようパパや家族、周りの方々がサポートをしてください。また、市のサポート事業もご利用ください。



## 市での主なサポート

### ・行田市子ども家庭総合支援拠点 **新規**

出産・子育てに悩みを抱える妊産婦や0歳から18歳までの子どもとその家庭の相談を電話・窓口・家庭訪問を通じて実施しています。  
問い合わせ 同支援拠点 ☎ 556-2011

### ・乳児産婦訪問とこにちは赤ちゃん事業

赤ちゃんが生まれた家庭に、保健師・助産師などが訪問し、赤ちゃんの体重測定や育児に関する相談・情報提供を行います。  
問い合わせ 健康づくり課 ☎ 553-0053

### ・産後健康診査事業 **新規**

産後うつ予防などを目的に、出産後間もない時期の産婦の健康診査費を助成しています。  
助成額 一人一回5,000円(上限)  
問い合わせ 健康づくり課 ☎ 553-0053

### ・赤ちゃんクラス

1カ月児健診が済んでから生後4カ月未満の赤ちゃんの体重測定や育児相談をしています。  
問い合わせ 健康づくり課 ☎ 553-0053

### ・オンライン保健相談

オンラインミーティングアプリ[ZOOM]を利用し、妊娠、出産、子育てについて、保健師や助産師、管理栄養士が相談をお受けします。  
問い合わせ 健康づくり課 ☎ 553-0053

### ・一時預かり保育

冠婚葬祭、保護者の傷病、入院などにより、緊急一時的に保育を必要とするお子さんをお預かりします。  
施設 太井保育園、和光保育園、あゆみ保育園  
問い合わせ 子ども未来課(内線257・263)または各施設

### ・ファミリー・サポート・センター

育児を援助してくれる方と援助を受けたい方を会員とし、会員間による育児の相互援助活動を支援します。  
支援内容 保育所などの送迎や開始前・終了後のお子さんの預かり、冠婚葬祭やその他外出の際のお子さんの預かりなど  
問い合わせ 子ども未来課(内線262)または行田市社会福祉協議会(ファミリー・サポート・センター) ☎ 550-7620

### ・離乳食教室

離乳食の進め方のポイントやお口の発達について初期・中期・後期に分け、その時期に合った内容をお伝えします。離乳食の進め方については、動画でもご覧いただけます。  
問い合わせ 健康づくり課 ☎ 553-0053

